

統合準備委員会だより



第4号 令和7年10月7日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

各専門部会の協議事項について

5月の第1回小諸市立小中学校統合準備委員会発足後、4つの専門部会ではそれぞれ調査・研究、協議を進めています。6月に開かれました各専門部会の協議事項や進捗状況についてお知らせいたします。

総務部会

○校名候補の募集・選定方法について

➤ 募集要項・応募用紙の検討状況

- ・募集要項の作成にあたり、応募資格・応募方法等の条件整理を行っています。
- ・応募に関しては校名の自由記載も可としますが、総務部会・統合準備委員会からの提案として、統合校にふさわしいと思われる校名候補を複数掲げ、皆さんに選択いただけるような応募用紙にしたいと考えています。

➤ 校名選定から決定までの流れ



○その他の検討事項について

- ・校章、校歌の制作や制服・学用品等の選定などについては、他自治体の先行事例等を参考にしながら、今後検討を進めていきます。なお、進捗状況は、統合準備委員会だよりや広報こもろ等で随時お知らせします。

P T A ・ 地域部会

○各校 P T A 活動の特色や現状、課題についての共有 ※右図イメージ

➤ 互いの学校の特色や課題の共有

- ・まず4小中学校のPTA活動は、それぞれどのような特色があり、どのような課題を抱えているのかをまとめました。

○芦原新校の P T A 組織や会則等に関する意見交換

- ・芦原中学校のPTA組織や会則をベースに、小学校ならではの内容を取り入れていく方向で協議を進めています。

令和7年 6月26日(木) 18:00~19:30 於：第3会議室			
学 校 名	児童生徒数	現在の P T A 活動・各校の特色・よさ など	課題や心配に感じている点 など
坂の上小学校	269名	○ P T A 活動が活発である。 ○ 役員の関係性はよいと感じている。 ○ P T A 役員は、全学年から選出。 ○ 役員の任期は3年。 ○ 副会長は9名いる。(2~3年目より選出) ○ 他校に比べて、専門部が多い。 ○ 滑川市との交流は50年の歴史がある。	● 専門部が多いので、負担感もある。 ● 交流部やバザー一部の仕事は大変である。 ● コロナ禍を経て、様々な工夫をしている。 今年度はバザーを「坂小フェスティバル」というような形で開催したいと考えている。
水明小学校	258名	○ コロナ禍以降、活動を縮小。2部会減らした。 ○ 水明小学区の支部は、全部で12支部ある。 ○ 「やかましむら」など、地域のボランティア活動が活発に行われている。 ○ 役員は児童1名につき1回としていた。	● 児童数の少ない支部がある。 ● 戸数が5世帯以下は、役員免除。 ● 児童数の減少に伴う、地区役員の重複が増加。 ● P T A 加入についての確認。
千曲小学校	90名	○ P T A スローガン「むりなく、楽しく、あたたかく」 ○ 会長は6年生保護者。副会長は5年生保護者。 ○ 支部から支部長1名。校外指導部1名選出。 ○ P T A バザーのような行事は行っていない。 ○ 児童数が少なく、1家庭あたりの負担はあるのではないかと思われるが、P T A 会員からの不満の声は、あまり聞かえてこない。	● 児童数が少ないので、P T A の役員等の兼務については、あたり前に行われている。 ● やはり人数が少ないため、役員選出の難しさを感じている。 ● 簡素化の方向性を探っている。(シンプルで、コンパクトな P T A 活動)
芦原中学校	374名	○ 任期は1~3年。再任はさまたげない。 ○ コロナ禍以降は、バザーを行っていない。 ○ 近年、給食部と厚生部とを統合した。 ○ P T A 活動の雰囲気はよいと感じている。 ○ 芦中伝統の梅の栽培活動をサポートしている。	● P T A 役員の選出については、推薦が多い。 ● 人選については、難しさを感じている。 ● 小中学校の統合にあたっては、各学校独自の P T A 活動の存続について大切に考えたい。

通学部会

〇部会の役割について

- ・新校開校に向けて、よりよい通学環境づくりを進めていくことを目標に、通学部会として今後検討していかなければならない事項について、部会員間で改めて共有し共通認識を持ちました。

- ① 通学路に関する事
- ② **通学バスの運行に関する事** 
- ③ 登下校中の安全対策に関する事
- ④ その他通学（費用負担等）に関する事

検討が必要な事項の中でも、予算・運転手の確保といった喫緊の課題がある「**通学バス対象者の条件**」を最優先協議事項としています。

〇参考資料の確認と今後の進め方について

- ・条件検討の足掛かりとして、①現状のスクールバス等の運行状況（水明、千曲）、②児童数の将来予想、③国が示す適正な通学距離と時間について確認しました。
- ・条件検討にあたり、まずは現状について理解を深めるべく、統合対象校の児童・生徒及び保護者を対象にアンケートを実施し、通学時に感じている負担感や、不安に思う箇所（心配事）等について調査することとしました。

教育部会

教育部会では、芦原新校の教育課程や学校行事、日課表や各種業務に関する事など、直接学校運営に関わる内容を検討しています。基本的には、4校の教職員が担当しています。

〇総委員会の開催

- 6月24日(火)16:00～ 第1回 教育部会総委員会
- ・芦原中学校区4小中学校の教職員53名が委員となり、全体会を開いた後、委員会ごとに協議をしました。

〇ワーキンググループ（委員会）の発足

- ・令和7年度は13委員会が発足し、それぞれ協議を進めています。

〇正副委員長会の開催

- 7月25日(金)9:00～ 第1回 教育部会正副委員長会
- ・各委員会の1学期活動状況や課題について、2学期の計画などの共有

〇教育課程や日課、学校行事等を各委員会で検討

- ・ワーキンググループごとに随時開催。進捗状況については、教職員同士で確認できるように、ネットワーク上のフォルダ内で共有しています。



総委員会での協議(6/24)

よくある質問



通学部会の様子

Q.通学方法やスクールバスについては、今後どのように決めていくのですか？

→スクールバス乗車条件等は、通学部会にて情報収集や調査をもとに案を検討しています。公共交通サービスの担当課とも連携しながら、統合準備委員会に諮った上で、教育委員会として方針を決定します。



【問い合わせ先】

統合準備委員会事務局
小諸市教育委員会
学校教育課 再編整備係
☎0267-22-1700
内線 2326
※このおたよりは、
小諸市ホームページ
にも掲載しています。